

2025年8月14日(木)

暑い夏をミュージカルで吹き飛ばす！

暑い夏が戻って来ました。

この間、線状降水帯や前線の影響で洪水や土砂災害に見舞われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興を祈っております。安全と健康を第一にご配慮の上、くれぐれもご無理なさらずにお過ごしください。応援しています。

さて、夏の学校閉鎖期間に合わせて昨晩はミュージカル『ある男』の観劇に出かけました。原作は平野 啓一郎、第 70 回読売文学賞に輝くベストセラー作品であり、2022 年には石川 慶が監督を務め、妻夫木 聡、安藤 サクラ、榎本 明ほかの出演で映画にもなりました。今回は、この物語をブロードウェイ作曲家ジェイソン=ハウランドによる音楽と手の込んだ人間関係やストーリーが、オリジナルのミュージカルではどのように表現されるのか期待して出かけました。会場は私のようなごく少数の中老年男性を除き、ほとんどが若い女性で圧倒されました。舞台は、戸籍取り替え問題や在日問題など極めて難しい話を歌声とリズムに乗せて緊迫感を醸し出しながらも、最後は平野作品らしく心揺さぶる家族愛に導くという素敵な作品に仕上がっていました。

幕が下りたあとは、会場全員によるスタンディングオーバーションで最大限の賛辞を送っていました。また、今宵の終演後にはソニン、知念 里奈、上原 理生、上川 一哉の 4 人のキャストによる約 20 分間のアフタートークもあり、曲の完成にまつわる話、楽屋話などを楽しむことができました。ただ、私のような年齢からすれば二役をこなす鹿賀 丈史の登場を期待するところでしたが、ここでも若い女性パワーに圧倒されました。

公演は、池袋の東京建物 Brillia HALL で 17 日(日)まで。

石飛 一吉

参考

■平野 啓一郎 (2018) 『ある男』 文藝春秋, 348 頁.

■松竹映画 『ある男』

監督:石川 慶 脚本:向井 康介 音楽:Cicada 制作:2022 年、121 分
キャスト:妻夫木 聡、安藤 サクラ、窪田 正孝、清野 菜名ほか